

がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療 研修会

在宅がんのリハビリテーション診療・リンパ浮腫診療の普及に向けて
～病院と在宅のシームレスな連携と実践～

主催：令和7年度(2025年度)厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資する研究
(研究代表者:辻 哲也)

企画協力：がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療ネットワークコンソーシアム

2025年

9/20^土

14:00～17:00

オンライン開催
(Zoomウェビナー
によるライブ配信)

事前予約
参加無料

研修内容

がん患者では治療や病状の進行に伴い生活機能に障害を来し生活の質が低下することから、リハビリテーション診療やリンパ浮腫診療は重要です。診療の均てん化のためには診療を提供する側の資質の向上が必要であることから、厚生労働省後援「がんのリハビリテーション研修(CAREER)」および「リンパ浮腫研修(LEARN)」が実施されており、これまで、前者では約6万名、後者では約5千名のがん診療に携わる医療従事者が受講し成果をあげています。

一方、がん患者の療養の場が病院から地域・在宅へと広がる中、これらの診療の提供体制を入院から在宅へと切れ目なく継続できる仕組みの整備が急務となっています。

本研修会では、専門職研修(CAREER・LEARN)の実績や本研究班の取り組みを踏まえつつ、病院と在宅をつなぐシームレスな連携の現状と課題、そしてその実践例について、多角的な視点から共有・議論します。

がんリハビリテーション・リンパ浮腫診療の「これから」を、一緒に考え、動き出すために、医療・介護に関わるすべての方のご参加をお待ちしております。

お申込み方法

下記イベントページの申込フォームよりお申し込みください。

<https://lpc.or.jp/cre/event/>

申込期間：8月1日(金)～9月15日(月)



プログラム

14:00-14:05	オープニング	辻 哲也(研究代表者)
14:05-14:25	基調講演	国のがん対策について 糸谷 涼 厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課
14:25-14:45	研究代表者講演	がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療の歩みと今後の展望 辻 哲也 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室
14:45-15:55	シンポジウム	CARDS(Cancer Rehabilitation in Decision Support Algorithm)を用いたシームレスな連携とその課題 土方 奈奈子 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室
		がんのリハビリテーション診療の現状と課題、取り組み ～がん拠点、緩和ケア病棟の全国調査結果から 福島 卓矢 関西医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
		リンパ浮腫診療の現状と課題、取り組み ～全国調査の結果からみるわが国での保存治療について 増島 麻里子 千葉大学 大学院看護学研究院 先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座
		リンパ浮腫診療の現状と課題、取り組み ～全国調査の結果からみるわが国での手術関連診療について 秋田 新介 千葉大学医学部附属病院 形成美容外科
		がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療の現状と課題 ～地域連携体制の構築の試み 高倉 保幸 埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科
		コンソーシアムの設立の経緯と今後の展開 ～分野を超えた横断的連携に必要とされる取り組み 井手 睦 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター
15:55-16:05	休憩	
16:05-16:45	質疑応答・ディスカッション	司会:辻 哲也 土方 奈奈子・福島 卓矢・増島 麻里子・秋田 新介・高倉 保幸・井手 睦
16:45-16:55	指定発言	患者団体の立場から 岩本 千晴 一般社団法人キャンサーフィットネス
		患者団体の立場から 岩澤 玉青 リンパ浮腫ネットワークジャパン
16:55-17:00	クロージング	辻 哲也(研究代表者)

【お問い合わせ】

令和7年度(2025年度)厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
 がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資する研究 研究班事務局
 メール: ganreha.kaken@lpc.or.jp 電話:03-3265-1907(平日9:00~17:00)